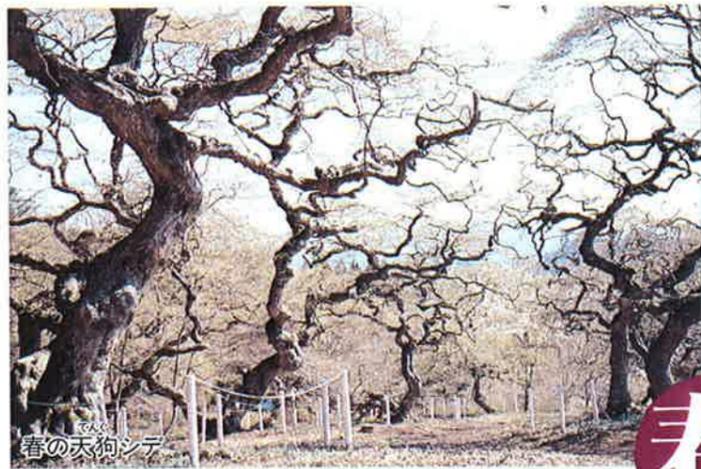


湯の里・おおあさ
そえ だに がわ
添 谷 川

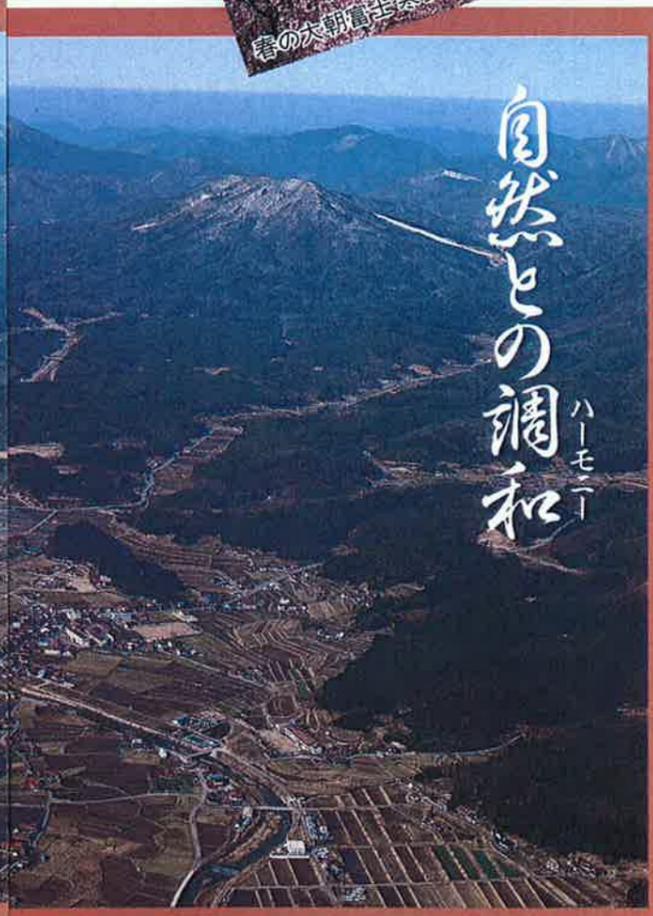


広島県土木建築部
山県郡大朝町



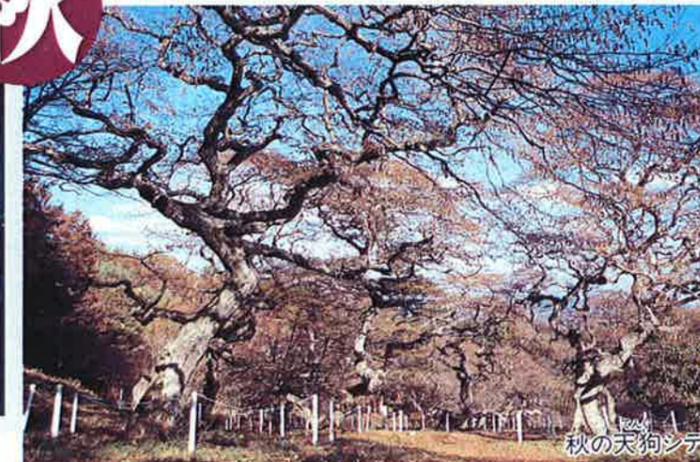
春

夏



冬

秋



水と遊び、 緑に憩う添谷川

潤いある水辺と花
緑香る自然のコミュニティー広場

●添谷川の概要●

添谷川は、山県郡大朝町南西部の熊城山付近を源とし一級河川江の川水系田原川に流入する、延長約3kmの普通河川です。流域には広く花崗岩が分布し、特に上流山林区域からの土砂の流出が続いています。広島県では昭和43年5月に砂防指定を行い、昭和44年度に砂防ダム1基を設置しました。現在は、土石流危険渓流のひとつとして、広島県及び大朝町の監視下に置かれています。

●大朝町地域活性化計画「田原地区湯と里のふるさとづくり計画」●

昭和63年に大朝町は添谷川河畔で、高品位な温泉源を掘りあて、現地に温泉スタンド自動販売機を設置し住民等に提供してきました。平成4年度に大朝町が策定した地域活性化計画「田原地区湯と里のふるさとづくり計画」は、廃校となった田原小学校校舎を活用して添谷川の溪流に親しむ自然豊かな温泉郷づくりを進め、地域住民の誇りの場として愛される潤いと安らぎのある生活空間づくりを目的としています。

●添谷川ふるさと砂防事業●

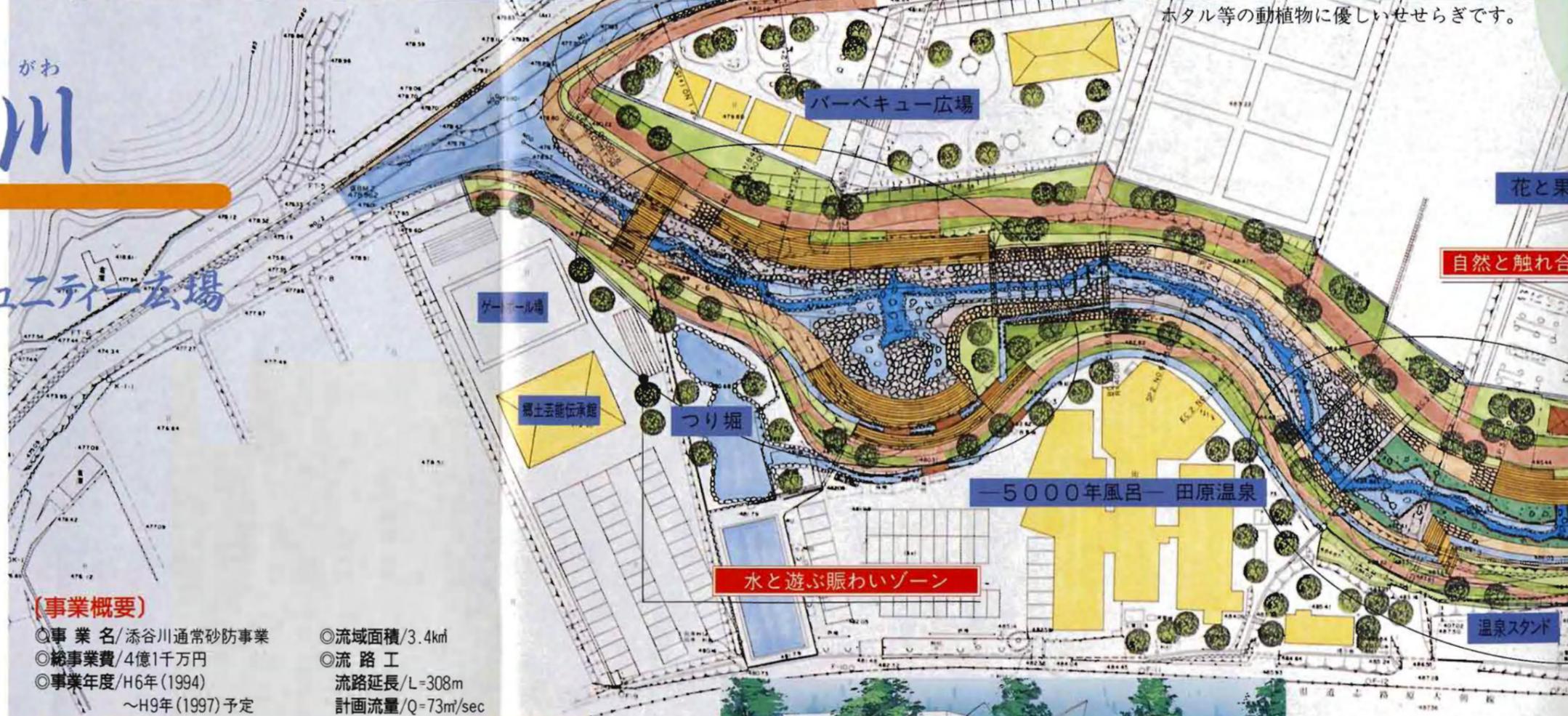
「田原地区湯と里のふるさとづくり計画」に基づいて、添谷川沿いに設置する温泉棟・釣り堀・修景水路・遊歩道等と親水性や生態系に配慮した自然石積流路工を一体的に整備するため、広島県知事の委任を受け大朝町長が「添谷川ふるさと砂防事業」を実施します。



石だたみや飛び石のある水辺では、子供も大人も水遊びに歓声をあげます。

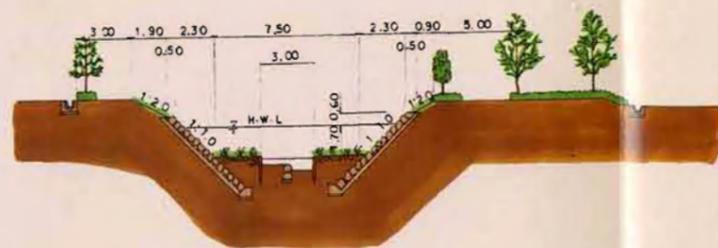


ホタル等の動植物に優しいせせらぎです。



(事業概要)

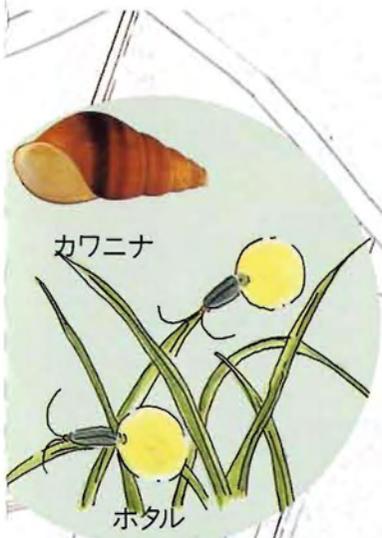
- ◎事業名/添谷川通常砂防事業
- ◎流域面積/3.4km²
- ◎総事業費/4億1千万円
- ◎流路工
- ◎事業年度/H6年(1994)
- ◎流路延長/L=308m
- ◎計画流量/Q=73m³/sec
- ～H9年(1997)予定



標準横断面図



釣り堀でヤマメを釣り、バーベキュー広場で食べる二重の楽しみが味わえます。



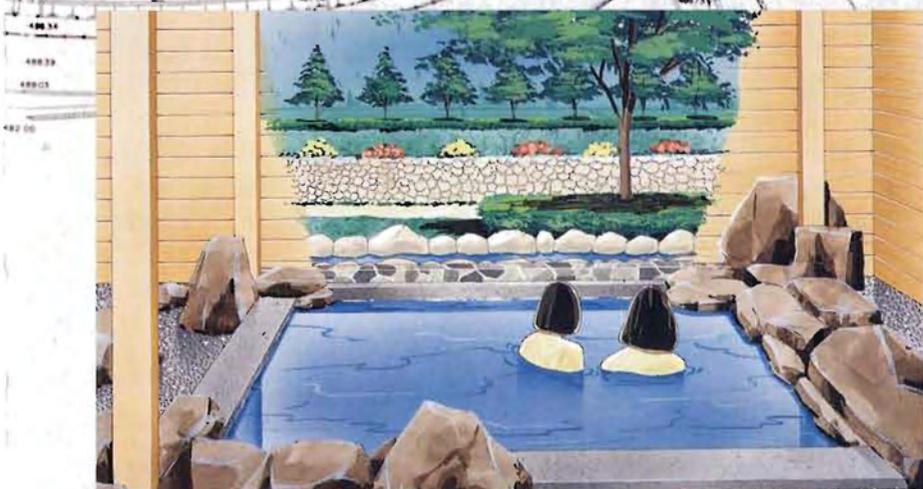
四季折々の植物と流水の織り成す瀬と淵を
楽しみながら散策します。

果と野菜の観光農園

憩いゾーン



花に囲まれた観光農園では、土いじりを
楽しむ貴重な体験農業を行います。



温泉につかり、水と緑の自然を満喫
します。

K 30 M 00

0 m 10 m 20 m 30 m 40 m 50 m

田原地区湯と里の ふるさとづくり

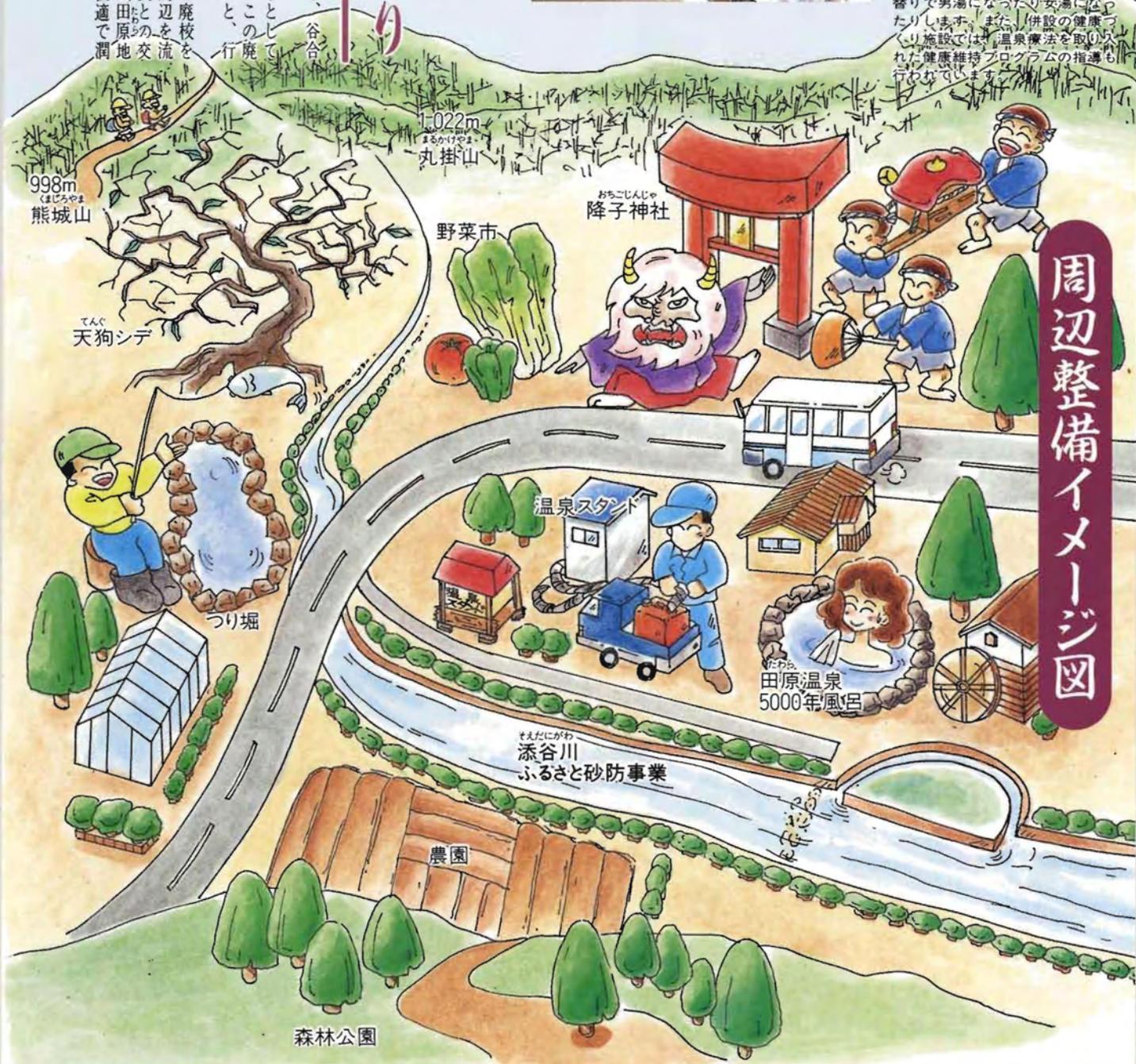
添谷川がある田原地区は、町の南西部に位置し、谷合に広がる兼業農家を中心とした地区です。平成四年には、地域の人たちが心の寄りどころとして親しんできた田原小学校が廃校となりました。この廃校の再利用をはかり、地区のシンボルづくりへと、行政と地域住民が検討を進めてきました。幸い小学校跡地近くに高泉質な温泉源があり、廃校を利用した温泉施設の整備を進めてきました。周辺を流れる河川の整備や体験型観光農園等、都市住民との交流、及び高齢者等の生きがいづくりをはかる「田原地区湯と里のふるさとづくり」計画を策定し、快速で潤いのある自然空間づくりを目指しています。



田原温泉5000年風呂

施設は小学校の建物を利用したユニークなもの。

泉質は単純放射能線、ラドン含有量68.2マッヘという高泉質な温泉を利用し、露天風呂をはじめ歩行浴、ミストサウナ、寝湯、水風呂、うたせ湯、ハーブや漢方薬を使った薬湯などクワハウスの10種類の風呂があります。露天風呂は男湯と女湯の両方にあるのでいつでも入れるが、その他の湯は日替りで男湯になったり女湯になったりします。また、併設の健康づくり施設では、温泉療法を取り入れた健康維持プログラムの指導も行なわれます。



周辺整備イメージ図

998m
熊城山

1,022m
丸掛山

おちごじんじや
降子神社

野菜市

てんぐ
天狗シデ

つり堀

温泉スタンド

田原温泉
5000年風呂

そえだにがわ
添谷川
ふるさと砂防事業

農園

森林公園

